

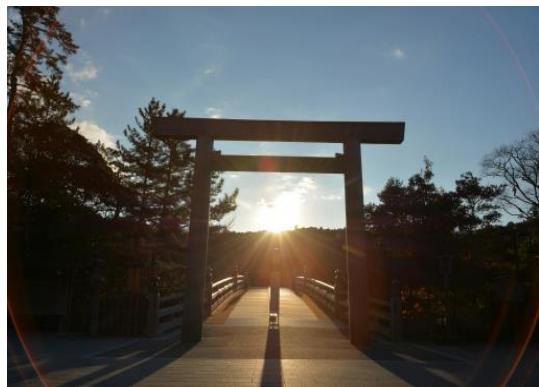


「観光都市 with S D G s」 ～伊勢志摩！未来創造プロジェクト～

三重県立宇治山田商業高等学校



1 育成したい地域人材像について



伊勢神宮



夫婦岩



伊勢志摩国立公園



持続可能な未来を創造できるグローバルな視点を持った地域社会のリーダー



2 構想概要

- 1 目的: 持続可能な未来を創造できるグローバルな視点を持った地域社会のリーダーを育成
- 2 目標: 「地球市民力」と「未来創造力」を育成するカリキュラム開発
- 3 取組概要



地球市民力の育成

グローバルな視野を持ち、持続可能な社会を構築する力
「課題解決力」、「論理的思考力」、「地域への貢献力」、「語学力」

未来創造力の育成

「地域・世界」「人・もの・サービス」をつなぐ力
「企画力」「調整力」「実践力」「突破力」「創造力」

1. SDGs 推進プログラム開発

- ① SDGs 基礎プログラム (教科横断的な視点)
 - ◆ 貧困の根絶 (経済・社会開発) と持続可能な社会 (環境) の両立や不平等 (格差) の是正等について、様々な教科・科目で系統的に学習

- ② SDGs 探究プログラム
 - ◆ 科目「課題研究」において、グローバルカンパニーでのインターンシップ、廃材を活用した商品開発等を実践



家具などの廃棄ごみリデュースプランの開発

- ③ SDGs 語学力向上プログラム
 - ◆ 科目「グローバル・コミュニケーション」において、地球的課題について、ディスカッションやディベートを実施



2. 観光都市を描くプログラム開発

- ① 伊勢志摩PRプログラム
 - ◆ 科目「課題研究」で、コンソーシアムと連携し、SDGs の視点を踏まえた課題解決型学習の実施



様々な国の人と交流し、世界から訪れる人を出迎える観光プログラムの開発



自然と暮らしを繋げるグリーンツーリズムモデルの開発

- ◆ みえグローバル学生大使として県内の観光地での英語ガイドを実施

- ② 国際交流プログラム
 - ◆ オーストラリア姉妹校との連携を強化 (Web 会議システム活用, 長期留学生受け入れ)
 - ◆ SDGs や観光についての海外研修プログラム作成



効果の測定と加わらぬマシ

数値目標

連携協力

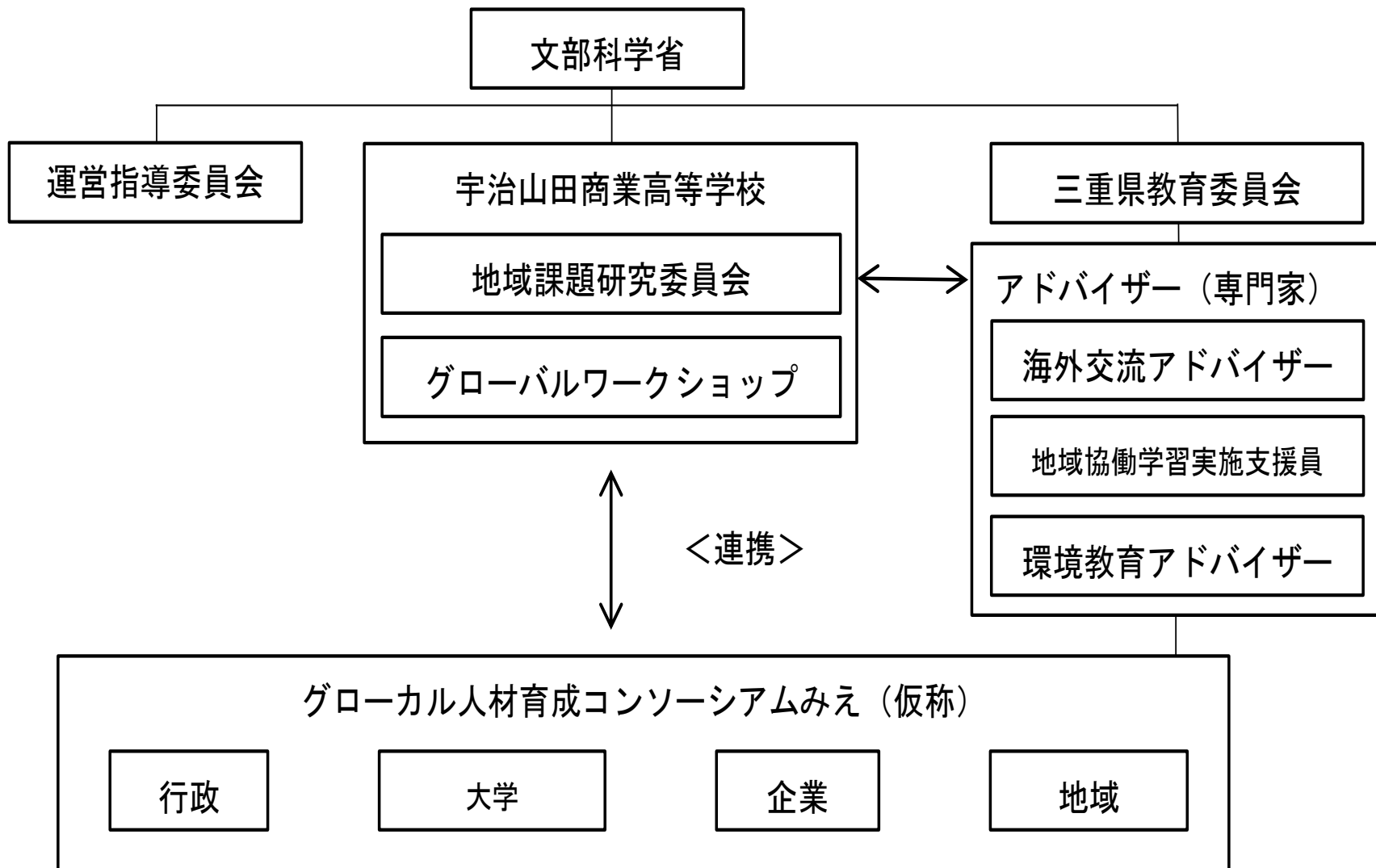
- ◆ GROW
- ◆ パフォーマンス評価
- ◆ 生徒アンケート
- ◆ コンソーシアム会議等での評価 等

- ◆ 地域の活性化プラン作成本数: 3本/3年間
- ◆ 海外と交流を行った回数: 3回/年
- ◆ ディベート・ディスカッション等の評価規準作成: 5本/3年間
- ◆ 国際的なイベント等への参加回数: 3回/年 等

- ◆ 皇学館大学文学部コミュニケーション学科
- ◆ 地方自治体 (伊勢市等)
- ◆ J A伊勢, 伊勢市商店街 等
- ◆ モンバルク・カレッジ (オーストラリア姉妹校)



3 研究開発の実施体制について



4 研究開発について

【SDGs推進プログラムの開発・実践】

- ① 地域課題研究委員会は、SDGsに関する学習活動を学校全体のカリキュラム計画に位置付け、各教科・科目で実施するプログラムの研究開発を行う。(教科横断的な視点)
- ② 2年次・3年次の科目「課題研究」で、SDGsに関する探究的な学習活動ができるプログラムの研究開発を行う。
- ③ 学校設定科目「グローバル・コミュニケーション」で、大学生や留学生等と英語によるコミュニケーションをとおして、語学力等の向上を図るプログラムの研究開発を行う。
- ④ 各プログラムは、コンソーシアムと連携して実施する。
- ⑤ コンソーシアム及び代表生徒で構成する「グローバルワークショップ」において、各プログラムの検証を行う。

4 研究開発について

【SDGs推進プログラムの開発・実践】

実施方法等

① SDGs基礎プログラム（教科横断的な視点）

各教科・科目（国語・地歴・公民・家庭・商業など）でSDGsに関する知識を習得するとともに、環境教育アドバイザーや企業でSDGsを担当している専門家等、コンソーシアムの皇學館大学の教授等による講演やワークショップをとおして、貧困の根絶（経済・社会開発）と持続可能な社会（環境）の両立や不平等（格差）の是正について学ぶ。

< 具体的取組 >

- 科目「現代社会」において、現代社会の諸課題である「地球環境問題」、「資源・エネルギー問題」、「国際経済の動向と貧困の解消」等についての考察を深めるため、グループ討議や発表を行う。
- 商業では科目「マーケティング」や「ビジネス経済応用」等において、地域企業と連携し、知的財産、データ分析・活用、ビジネスプラン作成など、持続可能な未来を創造するビジネスの考案及び地方自治体や連携企業等に向けてプレゼンテーションを行う。

4 研究開発について

【SDGs推進プログラムの開発・実践】

実施方法等

② SDGs探究プログラム

科目「課題研究」において、1・2年次で学習したSDGsに関する知識を活用し、より探究的な学びを実践する。

<具体的取組>

- 将来のキャリアデザインを考える機会を創出し、ビジネスの世界でどのように英語が使用されているかについて理解を深めるため、伊勢市内に本社を置くグローバルカンパニーでのインターンシップを実施し、外国人労働者との交流を深める。
- 実社会と自己との関わりから、地域や社会が抱える課題について、SDGsの観点から新しいビジネスモデルを構築する。

4 研究開発について

【SDGs推進プログラムの開発・実践】

実施方法等

③ SDGs語学力向上プログラム

英語のみを使用する環境を創出するとともに、国際交流活動の充実を図ることで、英語コミュニケーション能力の向上及び異文化理解の促進を図る。

<具体的取組>

- 科目「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」において、①②の学習の成果について、校内外のスピーチコンテストで発表したり、地方自治体、連携企業等に向けて、英語でプレゼンテーション等を行う。
- 学校設定科目「グローバル・コミュニケーション」を設置し、福祉、医療、環境等の世界や地球が直面する地球的規模の課題について、大学生や留学生等と英語でディスカッションやディベート等を行う。

4 研究開発について

【観光都市を描くプログラムの開発・実践】

研究内容

- ① 2年次・3年次の科目「課題研究」で、観光に関する探究的な学習活動ができるプログラムの研究開発を行う。
- ② 「勝手に伊勢志摩観光大使(仮称)」や「みえグローバル学生大使」等の校外での学習活動に関するプログラムの研究開発を行う。
- ③ 観光先進国等で学習する海外研修に関するプログラムの研究開発を行う。
- ④ 各プログラムは、コンソーシアムと連携して実施する。
- ⑤ コンソーシアム及び代表生徒で構成する「グローバルワークショップ」において、各プログラムの検証を行う。

4 研究開発について

【観光都市を描くプログラムの開発・実践】

実施方法等

① 伊勢志摩PRプログラム

科目「課題研究」において、広く国内外に伊勢志摩の魅力を発信し、観光客の増加を図るための方策に関する調査・研究を行い、地方自治体等に提案する。

< 具体的取組 >

- 高校生の視点で、伊勢志摩の魅力を発信できるツアープランを企画し、高校生自身がツアーの実施・運営・ガイド等を行う。
- 伊勢志摩を訪れる外国人観光客に向けて、伊勢志摩の魅力を発信するための英語のホームページを作成する。
- みえグローバル学生大使(三重県雇用経済部国際戦略課事業)の委嘱を受けた生徒を中心に、県内の観光地での英語ガイドを実施する。

4 研究開発について

【観光都市を描くプログラムの開発・実践】

実施方法等

① 国際交流プログラム

海外交流アドバイザーの支援を得ながら、生徒が国内外で国際交流活動を実施し、主体性・積極性等を育むとともに、国内外で先進的な取組をしている観光地から、伊勢志摩地域を観光都市として確立するための手法等を学ぶ機会を創出する。

< 具体的取組 >

- エコツーリズム等が盛んな欧米の観光都市を訪問し、その国の行政や企業等の役割を学ぶとともに、観光都市伊勢志摩を確立するための海外研修旅行を実施する。
- 本県と観光協定を結んでいる台湾の高校生を受け入れ、互いの国の観光資源や観光施策についてディベート等を実施する。

4 研究開発について

【効果測定の開発・検証】

各教科・科目において実施するプログラムの効果測定としてルーブリックの作成を行うとともに、その効果測定により生徒の資質・能力の伸びを図る。

① パフォーマンス・ポートフォリオの評価規準の策定

- 評価規準は、知識・技能以外の学習活動(思考力・判断力・表現力等)を測定するために作成することから、ディベートやディスカッション、グループワーク等による効果を測定する。
- 生徒の地域活性化・観光プラン等の企画・立案に係るポートフォリオの評価規準を策定する。

② 資質・能力測定ツール「GROW」を活用した各プログラムの効果測定

- IGS株式会社と連携し、資質・能力測定ツール「GROW」を活用して生徒の資質・能力の伸びを把握し、各プログラムの効果を検証する。

③ 地域・コンソーシアム等への提言等を含めた発表会で、課題研究の成果を地域社会に発信し、アンケートの実施や懇談会の開催等をとおして、外部有識者等のフィードバックや評価を受ける。



5 管理機関としての取組について

本県独自の事業も活用しながら、**持続可能な未来を創造できるグローバルな視点を持った地域社会のリーダー**の育成を目指す。

【本県独自事業】

- ・ 「未来を拓く職業人育成事業」:
研究校が、地域や産業界等と連携し、地域活性化に貢献する取組を進める。
- ・ 「みえ未来人(みらいびと)育成塾」:
県内の高校生と県外の高校生が英語で世界や地域の課題についてディスカッションするなど、グローバルな視野を育む。
- ・ 「三重県高校生海外研修旅行」
県内企業の現地法人(シンガポール)を訪問したり、現地大学生との交流したりすることを通して、グローバルな視野を育む。

この他、高校教育課の指導主事(商業、英語)が地域課題研究委員会やコンソーシアムに加わり、事業の進捗等を管理し、指導・助言等を行う。



6 本取組における課題について

- 宇治山田商業高校では、これまで課題研究において地域と連携した課題解決型学習(商品開発等)は進めてきたが、地域や産業界等と連携を一層深め、新学習指導要領で求められる探究的な学びを実現する必要がある。
- 海外研修プログラムを確立し、高校生が伊勢志摩を観光都市として活性化できるプランを構築する必要がある。
- 「SDGs推進プログラム」で育む地球市民力(課題解決力、論理的思考力、地域への貢献力、語学力)と「観光都市を描くプログラム」で育む未来創造力(企画力、調整力、実践力、突破力、創造力)をコンピテンシー測定ツールGROWで測り、学校として生徒の資質・能力を育むPDCAサイクルを構築する必要がある。

御清聴ありがとうございました。